

平成3年度事業成果の概要

企画調査部

平成3年度は、センター設立5年度として組織・体制の充実をはかりつつ、引き続き、水辺空間利用の今後の動向あり方等の検討。水辺空間の施設整備に係る技術的な手法の研究開発等に重点的に取り組んだ。それらと併せて国、地方公共団体等より委託を受けて技術協力を行うとともに、データベースの充実に努めた。また一般の広報、普及啓発活動を積極的に行った。

その具体的な実施状況のうち主なものは、次のとおりである。

1. 高規格堤防(スーパー堤防)、超過洪水対策に係わる水辺空間整備に関する調査研究・技術開発

- (1)高規格堤防の構造設計に関する調査研究を行った。
- (2)高規格堤防の施工計画について調査研究を行った。
- (3)大規模盛土に伴う盛土材料、沈下等の調査研究を行った。

2. 流水保全水路・水質浄化対策に関する調査研究

- (1)流水保全水路の基本的機能について調査研究を行った。
- (2)河川と流域における水質保全方策について調査研究を行った。
- (3)流水保全水路内における水質浄化手法確立のための調査研究を行った。

3. ふるさとの川モデル事業・マイタウン・マイリバー事業等の水辺空間整備に関する調査研究・技術開発

- (1)「ふるさとの川モデル事業」「マイタウン・マイリバー整備事業」等に関する調査研究と計画づくりを行った。
- (2)街づくりからみた水辺空間整備のあり方、水辺空間の機能、役割等について調査研究を行った。
- (3)水辺空間の管理運営のあり方について調査研究を行った。

4. 海岸・河口・港湾に係わる水辺空間整備に関する調査研究技術開発

- (1)伊勢湾等における河口や海岸の保全をベースとした水辺空間のあり方について調査研究を行った。
- (2)沿岸域の防災と利用に寄与する人工バリア構想について調査研究を行った。
- (3)C・C・Zの整備に関して、養浜技術、マリナー等の導入施設等について調査研究を行った。

5. 地域開発・都市開発と水辺空間整備の調和に関する調査研究

- (1)地域開発と水辺空間整備計画について調査研究を行った。
- (2)河川とまちづくりが一体となった地域整備計画、土地利用計画、都市施設整備計画について、整備手法、事業手法等の調査研究を行った。

6. 人間生活と調和のとれた自然豊かな川づくりに関する調査研究、技術開発

- (1)水辺空間における動植物の生息環境に関する調査研究を行った。
- (2)河川の自然環境調査の手法等に関する調査研究を行なった。
- (3)多自然型河川工法について、その適用性、設計手法維持管理方法等の技術開発を行なうための調査研究を行なった。

7. その他の水辺空間整備に関する調査研究・技術開発

- (1)水辺空間に関するデータベースシステムについての調査研究を行うとともに、データの収集に努めた。
- (2)海外の水辺空間整備事情について事例的研究を行った。
- (3)河川の親水化と水辺事故防止に関する調査研究を行った。
- (4)水辺空間整備に関して、整備効果、維持管理及び住民参加手法等について調査研究を行った。

8. 水辺空間に関する広報・普及啓発

- (1)シンポジウム、後援会、研究会等の開催
- (2)水辺文化誌「FRONT」の発行
- (3)機関誌「RIVER・FRONT」の発行
- (4)パンフレット、ポスター、カレンダー、書籍の発行及びビデオ、スライドの制作

9. 国際協力

- (1)北欧水辺空間整備調査団の派遣
- (2)日本とドイツとの技術交流
- (3)ネパール、カトマンズ市のまちづくり計画の調査に参加
- (4)中国の太湖の総合的な開発と管理についての調査
- (5)第7回日中河川及びダム会議に参加

<出版物案内>

「まちと水辺に豊かな自然をⅡ—多自然川づくりを考える」
定価1,980円(税込み)

ビデオ「着衣泳入門～水辺の事故を防ぐために～」
定価4,800円(税込み)